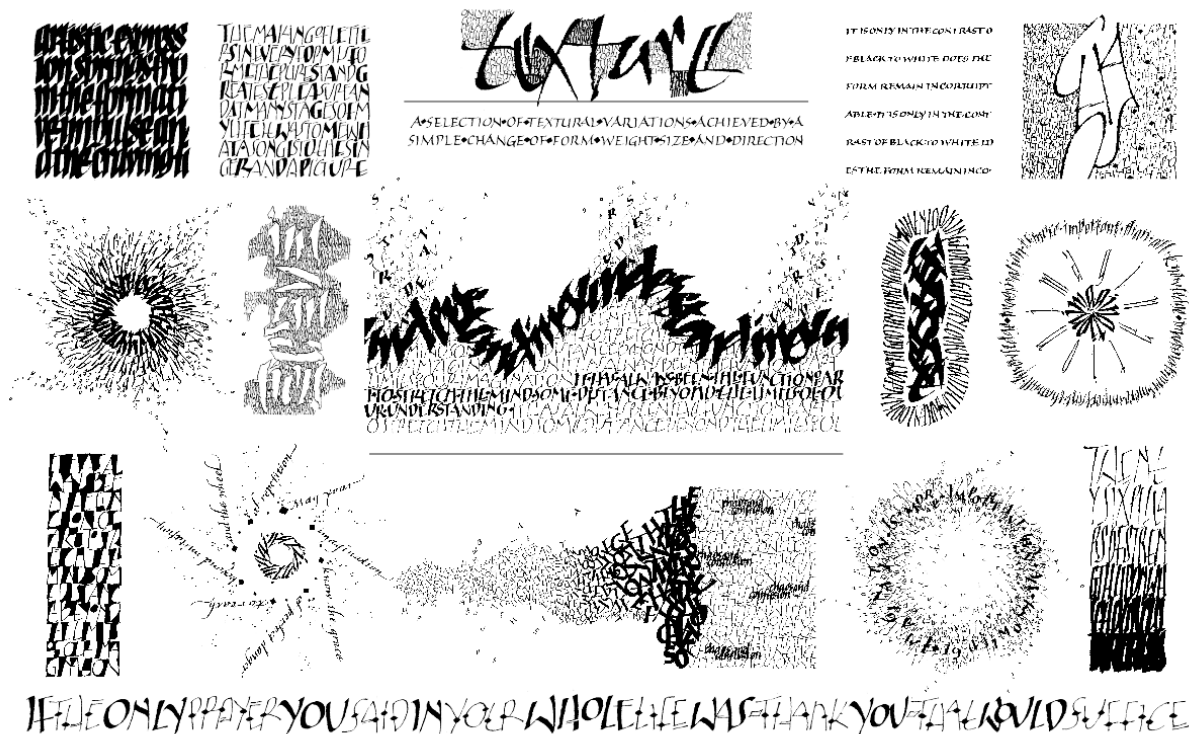


W O R K S H O P
Autumn 2010

Peter Thornton



P R O F I L E

Peter Thornton (ピーター・ソーントン) 氏は、イギリス、スタッフォード生まれ(現在はアメリカ、テネシー在住)のカリグラファーです。1969年以来プロとして活躍中で、イギリスの CLAS (Calligraphy and Lettering Arts Society) の特別会員として指導にあたってきたほか、過去 40 近くにわたって、イギリス、アメリカ各地のカリグラフィー組織やカンファレンスで教えており、ヨーロッパ各国はもとより、カナダ、日本、南アフリカ、ニュージーランド、香港など国際的にも多彩な指導経験があります。

『Alphabetically Speaking』を含む数冊の著書がある他、文字と音楽を組み合わせた、耳と目で楽しむ Musiacalligraphy (music+calligraphy) の創始者としても知られています。

Peter は、ワークショップでは授業そのものよりも、受講者自らが行なう復習の努力が重要であると考えています。なぜならスキルとは学ぶものではなく修得するものだからです。



◆ Schedule of Peter Thornton WS in Tokyo (時間は 10:00~16:30) ◆

- ☆10 月 23&24 日(土&日) A: Pushing the Pencil
- ☆10 月 26 日(火): B: Texture
- ☆10 月 28 日(木) C: Italic Master class



☆10 月 26 日(火)のクラス後 に、ルーリングペンのデモと Musiacalligraphy のスライドショーを予定しています。

PT-WS-A

週末 2 日間クラス [東京] 会場は未定 (港区内の予定)

[10 月 23 日(土) & 24(日): 10:00~16:30]

◆Pushing the Pencil (プッシング・ザ・ペンシル)

大文字と小文字、鉛筆とペン、そしてインクと色のそれぞれ両方を使い、legibility (読めること)、beauty (美しさ)、visual interest(見たときの面白さ)の境界に挑戦する多くの演習をします。これらの新しく刺激的な演習によって、単に希望的観測に頼るのではなく、非常に論理的かつ思慮深いやり方でテクスチャーとその配置について探求することができます。

持ち物リスト:

- ・鉛筆 2H, HB, 2B, 4B (お持ちであれば、Derwent 製 4B 水溶性鉛筆) + 鉛筆削り用のナイフ又は紙やすり又は他の鉛筆削り用具、
- ・定規、消しゴム、小さい水入れ
- ・細めの丸筆 (サイズ 2 または 4)
- ・水彩絵具数色と皿/パレット (少ししかつかいません) (固形でも OK)
- ・レイアウト用紙
- ・上質の白(またはクリーム色)の紙 大判 1~2 枚

上質の紙は、高さ 15~20 センチ×幅 20~26 センチぐらいの同じ大きさに予め切っておいて下さい。ご希望の方は、クラスで大福帳形式の本に綴じます。数種類の紙をとり混ぜていただいても結構です。任意ですが、表紙用に同じ大きさの少し厚めの紙をお持ち下さい。

- ・大福帳に綴じる方のみ: 刺繍糸、針、ボーンフォルダー、千枚通し(きり)、小さいクリップ 2 個、ハサミ

PT-WS-B [平日 1 日クラス [東京]

[10 月 26 日(火): 10:00~16:30] (オリンピック記念青少年センター、美術室)

◆Texture (テクスチャー) (右の sample 作品をご覧ください)

上手に使うと、テクスチャーという要素は、大いなる視覚的面白さを付け加えるだけでなく、さまざまなテキスト領域を美しく、かつ機能的に明確化することができます。このワークショップは、多くの演習を通して、伝統的と現代的、ダイナミックと静か、単純と複雑の両方を含む広範なテクスチャーを作り出すための、穏やかで論理的な入門コースとなるでしょう。デモや短い話とともに、受講者の作品作りや進歩に役立つ細かな指導が行われる予定です。少なくとも1つの書体を書ける方が対象です。

持ち物リスト:

- ・いろいろなサイズのカリグラフィー用ニブ + 先の尖ったニブ (G ペン、銅プレート用ニブなど)、
- ・ルーリングペン (コーラペンなど、お持ちの方のみ)、
- ・黒インクとウォールナットインクのどちらか、または両方
- ・レイアウト用紙と、お持ちの上質な紙(何でも OK)を少し
- ・細めの丸筆 (2~4 号)、
- ・筆記用具

PT-WS-C [平日 1 日クラス [東京]

[10 月 28 日(木): 10:00~16:30] (オリンピック記念青少年センター、美術室)

◆**Italic Master Class (イタリック体上級クラス)**

この限られた人数のクラス (注:定員 10 名) では、鉛筆とペンの両方を使って、字の形に焦点をあてつつ、**pressure and release** のいくつかのデモとたくさんの練習をすることにより、イタリック体に優雅さと繊細さを付け加えることを学びます。時間が許せば、非常に多くのオプションのいくつかを探求するための「勉強方法」と、この最も多様な書体に可能な「香りづけ」についても見ていきます。

持ち物リスト:

- ニブ (Mitchel の #2、2.5、3、3.5、4 または Brause の 0.5/0.75 mm、1mm、1.5mm、2mm)
- 黒インクとウォールナットインクのどちらか、または両方
- レイアウト用紙と、上質な紙(スムーズな紙がよい)を少し
- 筆記用具 (HB 鉛筆を含む)、定規

課題: 受講者は次の課題を当日ご持参下さい。

Mitchel #2 または Brause 2mm のペンを使い、ペン幅 5 の X height で、下記の文章か、又は 25 語ぐらいまでの好きな文章を適当な紙に書いて持ってくる。

"If the only prayer you said in your whole life was Thank you, that would suffice." (Meister Eckhart)

★**スライドショー・デモのお知らせ**★

Peter の Musicalligraphy のスライドショーと、ルーリングペン(金属板のペン)のデモを行います。ルーリングペン作りも試みますので、希望者は使わない鉛筆 1 本(ホルダー用)をご持参下さい。

日時: 10 月 26 日(5) 17:30~19:00 (飛び入り参加も OK ですが、できれば申込を)

場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 美術室 (B クラス会場)

費用: Peter の WS (クラスは問わず) を受講される方は無料、その他の方は 500 円。

■この WS に関する問い合わせ、申し込みはこちら→ ws@alpha-studio.com 担当 広瀬まで